

大学院医学研究科 実験動物学講座 附属動物実験施設
(基礎・社会医学系) 教授

令和6年11月15日

職 種	教授
募集人員	1名
勤務場所	京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設 (所在地：京都市左京区吉田近衛町) (変更の範囲) 大学が在宅勤務を許可または命じた場合は自宅等
職務内容	実験動物学研究、および附属動物実験施設の管理・運営 発生工学や生殖工学、遺伝子工学などに精通し、実験動物学及び関連分野を牽引する人材を期待する。加えて、動物実験・動物福祉に見識を有し、医学研究科附属動物実験施設の管理・運営を担うことを求める。 京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設は、ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)「ラット」を運営しています。 (変更の範囲) 京都大学の業務(教育・研究・運営)
資格等	博士の学位を取得していること
採用日	採用決定後できるだけ早い時期
任 期	なし
試用期間	あり(6ヶ月)
勤務形態	専門業務型裁量労働制(1日7時間45分相当、週38時間45分相当) 専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、週5日、8:30~17:15勤務(休憩 12:00~13:00) 超過勤務を命じる場合あり 休日：土・日曜日、祝日、年末年始および創立記念日
給与・手当等	本学支給基準に基づき支給
社会保険	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険および労災保険に加入
応募方法	以下の応募書類(PDF)を電子メールの添付ファイル等として提出して下さい。 <ul style="list-style-type: none">・履歴書・研究業績目録・主な科学研究費等の採択状況(代表者・分担者を明記)・研究(業績)の概要と抱負・教育実績と抱負・主な論文別刷(10編以内) なお、推薦の場合は推薦書を添付願います。 (注) 提出書類記載要項 1. 履歴書 A4版、横書きで記載のこと。 (1) 氏名(ふりがな)、性別、生年月日、満年齢、改姓年月日(旧姓)、現住所、郵便番号、現職名、連絡方法を記載のこと。 (2) 学歴(高校卒業以降)、免許、学位 (3) 職歴(産前産後休暇、育児・介護休業を取得した期間、外国出張も記載) (4) 賞罰 (5) その他(所属学会名、役職名及び社会における活動) (6) 履歴書の左上欄外に応募する講座名及び職名を記載すること。 なお、上記(1)~(5)における事項には、それぞれ年月日まで記載すること。 2. 研究業績目録 論文における文献の記載要領に準じて次の事項に留意すること。 (1) 著者名(全員論文記載の順により本人のところにアンダーラインをする)、標題名、雑誌名、巻頁(始と終わりを示す)、発行年、単行本の場合は上記に準じ編者、発行所名など

	<p>を含めること。</p> <p>(2) 用紙は、A4判を縦にし、横書き、番号を付してシングルスペースで記載すること。</p> <p>(3) 原著（和文・欧文別、年代順）、総説（和文・欧文別、年代順）、その他の順により、また、別刷を添付したものには○印を付すること。</p> <p>3. 主な科学研究費等の採択状況 科学研究費及びその他の助成金の種類、課題名、代表・分担を区別して年度順に記載すること。</p> <p>4. 研究（業績）の概要と抱負 2,000字以内で記載すること。</p> <p>5. 教育実績と抱負 2,000字以内で記載すること。</p> <p>6. いずれの書類もA4判を縦にし、横書きで作成のこと。パソコン又はワープロにより作成すること。 提出書類の1～5に頁番号を付すること（全体を通して）。</p>
応募締め切り	令和7年1月14日（火）必着
提出先・ 問い合わせ先	<p>E-mail: jinjiigaku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp（*を@にかえてください） 〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 TEL: 075-753-4304 京都大学医学研究科総務企画課人事掛</p> <p>※タイトルに「実験動物学講座教授応募」と記載してください。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・選考過程及び採否の理由については一切お答えいたしかねます。 ・提出していただいた書類は、採用審査にのみ使用します。 ・正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。 ・京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。 <p>出産、育児、介護等で研究を中断していた期間については、内容や期間を十分に考慮した上で審査を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場合を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。